

しなののうた

霧深きロープウエーに乗りたれば宙を浮くがに体の軽し



杉田小百合

しなののうた

千畳敷カールに立てど視界ゼロ宝剣岳の看板ひとつ

杉田小百合



しなののうた

たちまちに山覆われて目の前に怒涛のごとく霧の迫りき



杉田小百合

しなののうた

岩肌が牙を向くがの山間の狭きカーブをバス譲りあう

杉田小百合

